

糖尿病は早めの対処が大切です

7月から国保特定健康診査、後期高齢者医療健康診査、健康増進法健康診査が始まります。

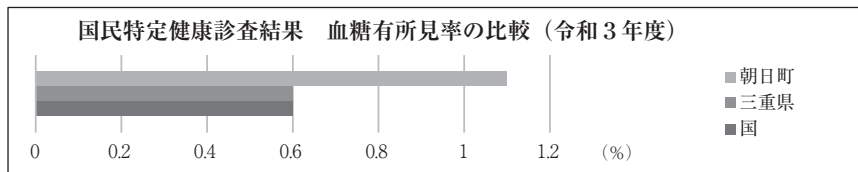
自覚できない隠れた病気を早期に発見し、治療につなげるには健康診査が有効です。是非ご自身の健康管理の為に受診してください。

とくに糖尿病は初期の段階では自覚症状がなく、高血糖の状態が長期間続くと重篤な合併症になってしまうことが多いようです。糖尿病の合併症には網膜症、腎症、神経障害のほか脳梗塞や心臓病のリスクも高まります。

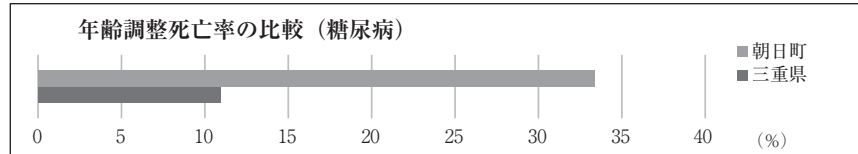
令和元年度国民健康・栄養調査報告では40歳以上の約3人に1人が糖尿病または糖尿病予備群だと推測されています。

健診を受けて糖尿病を早期に発見し、早めに医療機関を受診しましょう。

データでみる朝日町の健康状態（高血糖・糖尿病について抜粋）



朝日町の死亡率をみると



※「年齢調整死亡率」とは…

年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率のことで、より正確に比較をすることができます。

朝日町個別健康相談事業

【子育て健康課】希望者に尿検査、血圧・体重・体脂肪測定、健康相談、栄養相談を無料で実施しております。

【保険福祉課】国保特定健康診査を受診された中で、高血糖の方には個人通知し、個別健康相談を実施しております（秋～翌年3月頃まで）

三四地区糖尿病性腎症重症化予防事業

朝日町国民健康保険では、四日市管内の医療機関と連携して、糖尿病性腎症の重症化を予防する取組をおこなっています。対象者には7月上旬に案内を送付しますので、通知一式を持って医療機関にご相談ください。

対象者：過去の町国民健康保険特定健診や受診の結果、糖尿病の可能性が高い人

通知内容：医療機関受診のご案内、または保健指導の利用のご案内

肝炎ウイルス検査はお済みですか。



7月28日は、世界保健機構（WHO）が定める「世界肝炎デー」です。

WHOは、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎の蔓延防止、感染予防、感染者に対する差別や偏見の解消を目的として定めました。

厚生労働省は世界肝炎デーに合わせ、毎年7月28日を「日本肝炎デー」としています。

7月28日を含む月曜日から日曜日までを「肝炎週間」といい、肝疾患や肝炎ウイルスの感染予防に関して、全国各地で様々な啓発活動が行われています。

●肝臓のニックネームは「沈黙の臓器」です。

肝臓は人体の中でも最大の臓器で、右腹部の肋骨の内側にあります。肝臓には、500を超える生命を維持するための機能があり、「代謝」「解毒」「貯蔵」「合成」の大きく4つの分野に分かれています。肝臓は、知覚神経が通っていないため、よほど悪化しないと自覚症状が出現しません。なかなか疲れがとれない、食欲がわからない、吐き気がする、急にお酒が弱くなった、体のあちこちがかゆいなどの症状はありませんか？これらの症状は、肝臓のSOSかもしれません。心当たりがある場合は、肝機能や脂肪肝の検査をしましょう。

●ウイルス性肝炎とは？

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染し、肝臓の細

胞が壊れていく病気です。

肝がんの原因の80%は肝炎ウイルスです。

放置すると、肝炎→肝硬変→肝臓がんへと重症化が進みます。

●肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？

朝日町では、肝炎の早期発見・早期治療を目的として、健康増進法に基づき肝炎ウイルス検査を実施しています。

これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、この機会に受診してください。

対象者：今年度40歳～70歳になる方（S27.4.2～S58.4.1生まれ）で、肝炎ウイルス検査を受診したことがない方

※40歳になる方（S57.4.2～S58.4.1）は個別に通知いたします。

※それ以外の年齢の方は、子育て健康課窓口までお問い合わせください。

検査内容：HBs抗原検査、C型肝炎ウイルス検査（血液検査）

検査料金：無料

実施期間：7月1日（金）～11月30日（水）

実施場所：四日市市および三重郡内の指定医療機関